

令和3年
8月号
通巻第38号

塩釜シルバーだより

発行

公益社団法人塩釜市
シルバー人材センター

塩釜市尾島町18-17
☎ 022-367-5940

令和3年度 定時総会開催

去る6月29日(火)新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、感染拡大防止対策として出席者を縮小し、役員等12名・地区代表の班長6名、計18名(委任状190名)出席のもとに開催されました。会員総数311名。会議は先に配布された「定時総会議案書総会次第」に従って進行され、議事は全て全会一致で承認可決されました。諸活動の詳細は議案書をご覧ください。

○ 財務状況

「財務改善対策委員会」からの適切な提言を頂き、また、塩釜市より市内小中学校10校の消毒作業業務の委託もあり、経常収益を増額することが出来た。

今年度も一層財務状況の改善・向上に努める。

○ 活動の基本方針

「自主・自立、共働・共助」の理念と「安全は全てに優先する」を事業推進活動の基本方針とする。

○ 重点目標

就業開拓に併せ、会員拡大とその就業率の向上に努め、地域に開かれた事業の推進を図る。

当面は、コロナ禍の状況を踏まえながらの対応となる。

○ 感謝

会員個々の努力、市当局をはじめ関係機関からの指導・援助、そして市民各層からのご支援・ご協力に対して感謝の意を表す。



回顧
|| 会員への感謝とお願い ||

理事長 引地 榮五

会員の皆様には日頃「塩釜市シルバー人材センター」に対し、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

「塩釜市シルバー人材センター」は発足38年、そして「公益社団法人」となってから8年となりました。その間紆余曲折を経ながら今日に至りましたが、平成30年度に大幅な財務状況の悪化により521万円と云う赤字となつてしまいました。このままではセンターの存続が危ぶまれる状況に繋がりがかねないと云う危機感から直ちに局長を始め職員又理事会と様々な改善策を連日に渡り検討しながら徹底した「経費削減」・「業務の拡大」又「原価の見直し」更に「財務改善対策委員会」の設置等懸命に経営立て直しを実行してまいりました。

その結果、令和元年度(平成31年)の決算にて大幅な赤字を全て解消し、少額ではありましたが17万7千円の黒字を計上し健全な体質に戻すことができたのであります。

そして迎えたのが令和2年でありました。誰もが経験した事がない「コロナウイルス感染症拡大」の中、仕事のキャンセルが相次ぎました。そのさなか令和2年5月に「塩釜市教育委員会」より市内小中学校※

※10校の消毒作業の依頼がありました。先行きが見通せない中、何としてもこの仕事を成功させたいと云う信念のもと、限られた準備期間の中で80名という大勢の会員に連絡をし、それぞれの方々の承諾を得て、必要な備品を調達し、決められた開始日に間に合わせる事が出来た事は本当に素晴らしい努力の成果であったと思っています。

各会員は「しおがまウイルスバスター隊」と云う名の元に「自分達の孫が通っている学校から感染者は出さない。」と云う強いきもちをもちながら各学校へ赴いたのだと云うことを後から聞きました。

消毒作業開始と同時に県内は勿論の事、全国的に報道され「塩釜市シルバー人材センター」のPRになったのであります。この仕事が大きく寄与したこともあり、令和2年度の決算では前年に引き続き大幅な黒字を計上することができました。話は変わりますが「宮城車椅子を贈る会」の代表を務められておりま

す会員の田中昭彦氏が永年にわたる市内の「施設」又「体育館」・「市立病院」等へ5台の車椅子を寄贈され続けてきた功績が高く評価され「塩竈市市政功労者」としてこの度「塩竈市」より感謝状を授与されました。誠にめでとうございます。「公益社団法人」として8年を経過しましたが、今後も市政の一端を担いながら「共働」・「共助」・「安全」は何よりも優先する。」をモットーに当センターの存在感を更に高めたいと考えております。

最後になりますが、会員の皆様にお願いしたいことがあります。

会員の拡大です。「チラシ」・「ポスター」・「市政だより」はもとより

何よりも効果がありますのは「口コミ」であります。お友だちやご近所の方々へ是非お誘い願えればと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

コロナ感染症拡大の中どうぞ十分健康にご留意のうえお過ごしください。

「会員・役員・職員」の協力体制を深めたい

常務理事・事務局長 菊田芳弘

会員皆さまには、常日頃よりセンター運営に對しましてご尽力・ご協力頂きましてお礼申し上げます。

また、令和2年度の実績につきましましては、全会員、財務改善対策検討委員、役職員のご協力を頂き、受託契約金が約一千万円増額することが出来ました。

当初は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多数のイベント、研修会や講習会が中止となり、4・5月は就業の減少など厳しい状況となりましたが、この中で塩竈市より小中学校の消毒作業「しおがまウイルスバスター隊」業務や市民健診会場での消毒等業務などの活動をさせて頂く事となりました。

会員皆さんの子供達、塩竈市に對する恩返し、地域貢献の気持ちがある今回の就業に結び付いたと思っております。

また、会員から一人の感染者も無く無事業務を終了出来たことについて改めて心より感謝申し上げます。

令和3年5月より、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場消毒作業もセンターに業務委託を頂き、行っております。

今後大変な状況が絶えず訪れると思いますが、「会員・役員・職員」が共働・共助の理念を忘れずに協力していければ必ず危機を乗り越えられると信じております。

今後も更に協力体制を深めて参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



ごあいさつ

塩竈市長 佐藤 光樹

日頃より皆様方におかれましては、本市行政に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様もご存じのとおり、本市におきましては、現在、3人に1人が65歳以上の高齢者の方々となっております。このような状況の中、本市のまちづくりには、元気な皆様が、長年にわたって培われた知識・経験・技能を活かし、地域で活躍し続けていただくことが必要不可欠であります。

現在、市内では、300人を超えるシルバー会員の方々がさまざまな分野において、活躍されております。本市におきましても、施設の管理や清掃業務、介護予防事業をはじめ、多くの事業においてご協力をいただいております。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように活動できないことが多々あったものと存じますが、そのような中であっても、市内小中学校の消毒作業を行うため、昨年5月に結成された「しおがまウイルスバスター隊」の活動では、皆様の「組織力」を十分に発揮いただけたと感じております。

児童生徒の下校後に、教室の机や椅子、手すり、水飲み場の蛇口などを大変丁寧に清掃していただき、子どもたちからは「安心して学校へ行くことができる」と感謝のメッセージが多数寄せられ、シルバー会員の皆様ならではの細やかな気配り

の行き届いた仕事であったと感じております。

また、新型コロナウイルスの集団接種においては、本年5月から会場内外で接種者の誘導等に携わっていただいていることに対しても感謝を申し上げます。

本市では、7月末をもって高齢者の方々のコロナワクチン接種が一定割合に達したことから、市内取扱店で利用出来る「しおがまおでかけ応援商品券」を配布し、高齢者の方々の外出を支援する事業に取り組んでおります。これまで自粛を余儀なくされていた高齢者の方々の外出の機会を創出することにより、介護予防や健康増進、地域経済の活性化を図るものであります。

今後も社会情勢や地域のニーズを見極めながら、さまざまな高齢者福祉事業を展開してまいりますので、皆様のお力添えをいただきたくお願い申し上げます。

塩釜市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就業ニーズを的確に捉え、就業機会の開拓や各種事業の展開、さらには会員の確保と育成に引き続きご尽力いただきたいと思います。

併せまして、会員の皆様には、「安全第一」で就業いただくとともに、長年培ってこられたその豊かな知識と経験により、活力ある地域社会づくりを牽引いただきますようご期待申し上げます。

結びになりましたが、今後とも本市行政に対しご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



塩竈市市制施行 80 周年記念
-SHIOGAMA 80th ANNIVERSARY-

シルバーさん 消毒作業ありがとうございました

柴田町立柴田小学校校長 谷内幸絵 (前塩竈市立玉川小学校教頭)

令和元年度の修了式を目前に控え、学校は長い休業に入りました。新型コロナウイルス感染拡大防止の措置です。私は当時教頭として塩竈市立玉川小学校に勤務していました。

長期の休業を子どもたちに告げる校長先生からは、非常に切なく無念の思いが伝わってきました。今なお続く新型コロナウイルスの脅威は、世界中の人々の生活を大きく変えました。

塾や大学でオンラインでの授業が始まり、私たち教員は大いに焦りを感じました。

「子どもたちあつての学校」です。いつになったら学校を再開できるのか、毎日そのことばかりを考えていました。

休業中、教員は課題作りや遅れた学習にどう対処するか、学校が再開したとき子どもたちをどうやって迎えるかなど日常の業務を遥かに超える量の仕事に忙殺されていました。この上消毒業務までとなるとより一層多忙感が増すことは必至でした。

6月になり学校が再開されました。

ありがたいことに心配していた消毒作業を塩竈市ではシルバー人材センターに委託し、行っていただくこととなりました。私たち教員は大変喜びました。それもそのはずです。トイレや廊下、水飲み場などの公共の場所に加え子供の机と椅子

を日に何度も拭かなければならないのですから。

子供が帰ると教員の仕事も終わりと思われているかもしれませんが、実は毎日のように会議などが設定され、学級の仕事を始められるのは勤務時間が過ぎてからです。

毎日消毒作業となると自分の学級の仕事はほとんど手が付けられない状況です。ですから、シルバー人材センターの方々のお力をお借りできることはとてもありがたかったです。

担任も消毒作業をしていましたが、お手伝いいただけることで、仕事量は半分以下になりました。

本校に配属になっていたシルバーさんは日頃安全ボランティアとして子供たちの安全を見守ってくださっている方などでした。仕事も丁寧で、夏は大量に汗を流しながら、冬は寒さに凍えるよ

うな日も休まず私たちを支えてくださいました。

そのご縁がきっかけで読み聞かせボランティアを引き受けて下さった方もいます。本当に子供たちの安全安心な学校生活のためにご尽力下さ

っている方ばかりでした。

その方々と今でもお手紙でのやりとりが出来る関係でいられることは、私の塩竈での3年間の勤務で得た大きな財産です。



祝

永年会員理事長表彰

(敬称省略・順不同)

次の方々が表彰されました。
益々のご活躍お祈りいたします。

- 木村 幸子 杉小二班
- 深瀬 こと 玉小一班
- 佐藤 千代子 月見小一班
- 相澤 ミドリ 三小三班
- 相原 輝昭 玉小二班
- 飯田 達郎 杉小一班
- 雫石 三雄 二小六班
- 岡田 昌夫 二小一班
- 岩 渕 博 玉小二班
- 木村 清 杉小二班
- 佐藤 諭 二小四班
- 佐藤 忠雄 月見小一班
- 山田 宏 二小一班
- 小野 武彦 二小三班
- 遠藤 清康 杉小一班
- 畑谷 三朗 杉小三班
- 佐藤 隆一 三小二班
- 千葉 均 杉小三班

田中昭彦さん

「宮城車椅子を贈る会」の代表を務める田中昭彦会員が多年にわたりボランティア活動を通じて車椅子を市内の各施設へ5台寄贈することができ、本市社会福祉の向上に寄贈された貢献に対して、塩釜市市政功労者表彰式にて感謝状を授与されました。

おめでとーございます！

水沼淳二さん

多年にわたり安全就業の推進に尽力されシルバー人材センターの発展に多大な成果あげられたその功績を讃えられ、公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会会長白川由利枝氏より表彰状を授与されました。

役員退任

○ 理事

阿部徳和氏

前塩釜市健康福祉部長

○ 監事

三浦一泰氏

商工会議所専務理事

長い間、シルバー人材センターの発展にご指導・ご尽力いただき誠にありがとうございました。

役員就任

○ 理事

小林正人氏

塩釜市健康福祉部長

小林氏は、令和3年度定時総会において選任・承認されました。

令和3年度安全スローガン

「安全はみんなの意識で事故ゼロ

～ケガをしない・ケガをさせない・命を大切に

心に残る事は塩釜のお墓の事

神奈川県大和市南林間 佐々木 陽子

初めて耳にする線状降水帯とか、ゲリラ豪雨それにコロナ禍の中、土石流に五輪と、果てしなく大変な事ばかり国の財政は大丈夫かと行く末が案じられま

す。
私は生まれも育ちも塩釜で今年88才の米寿を迎えました。

戦争の最中^{さなか}そして終戦、戦後の混乱期でしたので胸を刺す様なつらい思い出ばかりです。

父は招集兵として2回も出征し面会に母とたしか宇都宮へ汽車の旅、そのうれしい旅も汗と黒いススにまみれ泣き笑いの旅でした。

10〜11才の頃でしたか自己流の幼い俳句に 「防空壕

ひな様抱いて 夜明け待つ」。
たしか仙台北空襲の頃B29機が空を飛んでいました。

一番恐かったのは進駐軍が5・6人ドドッと土足で入って来て、戸棚やらタンスをあけて日本人形やまだ手を通さない私の振袖その他いろいろ一ぱい手

に持って笑いながら立ち去った事、あの時は呆然とたちすくむだけでした。

食糧難の続く中、母の作る塩釜ならではの魚料理がありました。出刃包丁2本でたたいてたたいて魚のすり身です。だんご汁やおやき(今でいうハンバーグ)あら汁、おみその焼きおにぎり、おいしかった事母の姿を共に思い出します。

当時塩釜の方達は、イワシやサンマはお金を出して買うものではないと思っていたかもしれませぬ。(落ちていましたので)塩釜さまのお祭りもそれはにぎやかで、親戚の人達は集まって魚市場から買い出した高価な魚をみんなで料理し、飲んで、食べて、歌ってまずは「さんさしぐれ」から「塩釜甚句」・「斉太郎節」と楽しい集いでした。

行列も荘厳の中に、滑稽な「ヤッコさん」とか「神馬さん」も頭をふりふり登場、みんなぞろぞろと港までついて歩いていまし

ね。これも塩釜さまのおかげで楽しい思い出です

東日本震災にもあい、津波も大変な思いをしました。

5年前共にした夫が亡くなり、息子や娘の住んでいる近くの神奈川県に転居しました。ここは、サ・高・住(サービス付き、高齢者住宅)と云って元気な高齢者のマンションです。自立の道を選んでいる仲間達なので楽しく過ごしています。

ただ、心に残る事は、塩釜のお墓の事で、墓じまいの事も考え悩みました。父が塩釜を愛し先祖を大事にし、かかさずお参りしてたものから今もなお悩んでおります。

管理をお願いしているシルバーさんには写真を送って下さり、修理までしていただき、お心遣いに感謝しております。

コロナ禍で帰る事も出来ずにおります。

お盆の事も宜しくお願ひします。ではみな様お元気です！

令和3年度 年会費納入のお知らせ・お願い

今年度から **コンビニエンスストア** でのお支払いに変わりました。

※ 会費納入依頼書(圧着はがき)に添付されている払込票を提出してお支払いください。



私もシルバーのお世話になっています

思い出すまま 気の付くまま

市内佐浦町 中野正護

他に駆け足は早かった。一樹
 の間は、香津町で
 も、芝敷が、取
 を、に頼る住が見
 。徐に働
 で頼、で済む話が
 庚に広が、取り外の野
 分か、に繋がった。会
 の年、の結が大きい基
 盤な、つたよう。
 成 5年4月の日、二審
 に、私の電渡松
 氏(元)か電が
 あって、職、一樹を
 一の事が話の端に出
 時、私はに就き、
 の職も簡の一つ
 渡か「職で職の職
 名が、(樹)や4
 拙い業を纏に慮た
 と響の声を

り。は6ヶ月。
 修後、一樹を
 の豊に、職を業
 出ると、海か陸(お
 か)の怒の換、窓・を
 スか纏へを図ると
 な講を皆を、は、
 樹を、に余し、船職
 員を、培った能・職と、職
 で得た能を揮し、前
 庭を、全をたま。
 せ、我が家の、一を
 の細が、宿の取り
 業、私の「研」資
 の成、一職、一樹の
 筆、お願ひを。
 去る日は、の壽
 (お家の部)の掃・纏
 お願ひ。昔は晴、お
 越の沼を、柑を共に真
 面、纏、日いっば鞠
 て、纏を。町や海
 藤の話し入り、太は私の友
 人串をの問と分か笑
 い、打ち解け、楽し、な日
 程、お話を。
 程、お話を。

私もシルバーに

お願いしています

市内伊保石 遊佐由紀子

毎年大変お世話になっております。

私はシルバー人材センターさんにお願
いして14、15年になります。

自分では出来ないし、いつもとてもきれ
いにして頂いて、心地よく生活させて頂い
ており、感謝しております。

でも、一寸、言わせて頂くと、毎年料金
が高くなって年金者には大変ですけど、
これも致し方ないのかなーと思ひ、納得し
ています。

来年も又よろしくお願い致します。





車椅子寄贈 報告・御

宮城車椅子を贈る会 代表 田中昭彦 (会員 杉小三班)

会員の皆さまお変わり御座いませんか。私がボランティア活動を始めた切っ掛けは、13年前シルバー人材センター会員となり自宅近くの施設に午前・午後と歩いての通勤時、路上脇等のポイ捨て缶を拾い片付け、以後インターネットにて「プルトップ」を集め換金「車椅子」購入寄付をしている事を知り、早速宮城朝日会へ送り換金して戴くことにして、家族で集め活動を始めました。しかし中々貯まらず、何度か心境が落ち込んだ時、シルバー会員・友人・知人・町内会の皆さんから沢山集めて戴き後押し、又菊田局長の計らいで事務局をシルバーセンター内に設けて戴いたところ会員以外にも多くの一般・団体等の皆さんが事務所に持って来て戴くようになりました。

皆さまに支えて戴き今年で12年目頑張れて、お陰さまで今までの寄贈実績は2019年7月まで中古車椅子を2台寄贈・プルトップ換金購入分5台を、塩釜市行政・施設に寄贈致しました。しかし、2019年後半買取り業者・宮城朝日会は活動

を止められ、他買取り業者も買取りはせず。

菊田局長と相談、買取り業者紹介、私も何か所かの業者と買い取り・値段等の交渉し現在の買取業者に、当初より価格は安いですが、現在に至って居ります。

今までより多くの数量を要するので購入まで時間がかかりましたが、収集して下さる皆さん方のご協力により今回6台目を購入出来ました。収集されておられた方は塩釜市外の方からもご協力戴いて居りますので、これから2市3町にも寄贈と思ひ、今回2021年7月19日多賀城市社会福祉協議会さまへ寄贈致しました。

このボランティア活動を通して、皆さまからの支え、人と人との信頼感そして孫さん子供さんが集められ、じいちゃん・ばあちゃんへと家族愛等を目にいたし、素晴らしい学びをさせていただきました。

紙面をお借り致しまして報告と心から御礼申し上げます。今後共ご協力を宜しくお願いいたします。

田中さん感謝状受賞に思う

大日向町内会会員有志

昨年の市政功労者表彰として、田中昭彦さんに市長より感謝状が贈られました(今年1月号の「広報しおがま」参照)。長年に亘って、車椅子を各団体に贈呈する取り組みを続けてこられた努力に対してです。

田中さんは「これは皆さんが集めて下さったプルトップひとつ一つの積み重ねの成果であり、私個人というより皆さんの代表として戴いたものです。」と言われます。

私たち大日向町に在住するシルバー人材センター会員も町内会の広報紙を通じて呼びかけたり、有志に声掛けし更にそこから口コミでこの主旨が伝えられたことにより、幅が広がってかなりの量のプルトップを提供して来ました。「皆さんに集めていただいたおかげです。」と田中さんは謙虚にお話しされますが、集まったプルトップを洗浄整理し、これを引き取ってくれる業者さんと交渉するなど、車椅子一台になるまでにはかなりの時間と労力が伴っているようです。

大日向町内会に籍を置く私たちは、今後も広く声掛けや啓蒙で「塩釜市シルバー人材センターここにあり」を縁の下で支えたいと思っております。

田中さん、これまで通り先頭に立って私たちを引っ張ってください。協力を惜しみません。

司書さんと水沼さん



塩釜市民移動図書館

「プクちゃん」ありがとう そして さようなら！

玉小一班 水 沼 淳 二

シルバー人材センターに会員登録しその一員にならないければ絶対に就けない仕事、それが塩釜市民図書館の移動図書館「プクちゃん号」の乗務です。そのプクちゃん号に別れる時が来ました。年齢的なこともあり、自身の判断と考えて乗務を辞したのです。

気がつけば、約5年間の仕事重ねたことになりました。

私がプクちゃん号に初めて乗務したのは、平成28(2016)年11月17日でした。この日の日記には次のように記しています。

「いよいよプクちゃん号の運転だ。まずエンジンが掛かるだろうか。コースにミスがないだろうか。運行前にいらざる心配が先々走っていた。しかし、終わって見れば全て順調だった」と。

同年10月中旬に菊田事務局長より、移動図書館への乗務を打診されました。躊躇なく二つ返事で引き受けました。乗合バスの乗務員として20数年、更に仙台市内にある医療機関に勤め、受診者の送迎要員として15年の長きに亘っての大型車

の乗務経験で、運転技術や接客に全く問題がないと自負し、本好きとあつてはまさに「水を得た魚」のような心境でした。

毎回の運行時安全運転に気を配り、同乗する図書館の職員(司書さん)のお手伝いに汗を流しました。若い司書さんたちがすが図書館員という知識と自覚、そして誇りを常に持ち続けており、図書利用者への立場に立って対応しているのが、私の目から見ても一目瞭然です。特に小学生に対しては、集団で車内に乗り込んでくる児童に、図書カードを発行する手続きの説明、希望する本の予約受付、「今日〇〇の本、積んでいますか」等々際限がない対応に追われながらも、いやな顔を一つ見せずひとり一人の問題を解決していく術はさすが、とその手腕に見入りました。

私から見れば娘か息子あるいは孫の年齢にあたるこの若い人たちに、教えられることばかりです。年齢のギャップは如何ともしがたいが、業務を離れると限られた僅かな時間に、共通の話題を求めて笑いながらおしゃべりをする、そんな雰囲気が好きでした。

きでした。

そして7月16日、私にとって「プクちゃん号」のラストランになりました。塩釜市立第二小学校での業務も無時に終え壺番館の事務所前に戻ると、なんとこの5年間に一緒に業務した司書さんたちが数名、私の到着を待っていてくれたのです。

この予期せぬ出迎えに思わず絶句。このような形で有終の美を飾られた自分に幸せを感じました。プクちゃんありがとう、司書さんたち大変お世話になりました。

しかしです。バス会社を退職し医療機関の任期を終えた時には、まさか80歳近くまで責任を持った働く環境に恵まれるとは夢想だにしませんでした。平成25(2013)年8月会員番号3302番を頂戴してから8年、かつて体験したことがないさまざまな仕事に就き、多くの人たちと出会い接してきました。シルバー人材センターに関心を示さなかったならどんな生活を送っていたでしょうか。今日の充実した生き方を与えて頂いたシルバー人材センターにただただ感謝で一杯です。

【 プクちゃん号 巡回コース 】

- Cコース(木曜日) : 清水沢市営住宅内 → 新玉川市営住宅内 → 見ヶ丘小学校
- Dコース(金曜日) : 今宮町「あすなろ」 → 千賀の台集会所内 → 第二小学校



「塩釜シルバーだより」の「復刻」に思う

月見三班長 小野寺 治生

先般6月29日(火)、ホテルグランドパレス塩釜に於いて、令和3年度定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症防止の関係から、昨年と同様に出席者を最小限に抑えて二年続けての異例の総会となりました。

シルバーセンターの総会に引き続き「友の会」の総会も開催されました。

昨年令和2年度の友の会総会において畠山氏(玉小一班)が新しく友の会役員に選出されました。その後菊田局長より「シルバーだより」発行の担当を依頼されたところ、快く承諾され「シルバーだより」が陽の目を見ることが出来た事を、心よりお慶び申し上げます。過去を振り返ると、シルバーの理事、監事の中で、担当者が、

塩釜シルバー内の広報の一環として、年間3〜4回発行しておりましたが、諸般の事情により、平成30年12月号を最後に、約一年半休刊しておりました。しかし、この度、担当者の熱意ある申し出により『復刻』された事は、最近の新型コロナウイルス禍の暗いニュースの中で、シルバー会員の皆さまには非常に明るいニュースではないでしょうか。これは令和2年7月号を拝読しての感想です。

今後のシルバーだよりは、シルバー友の会だよりと合体して発行することになったようですので、今後は、担当者の健闘と、独自の発想の展開により、素敵な紙面創りを期待しながら、ペンを置かせていただきます。

シルバー人材センターの理念 自主・自立・協働・共助

シルバー人材センターとは？

- シルバー人材センターは、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目指しています。
- シルバー人材センターは、企業、家庭、官公庁などから業務を受注し、高齢者に働く場として提供しています。
- シルバー人材センターは、高齢者の雇用の安定等に関する法律に基づき、都道府県知事が指定しています。

【シルバー人材センターの目的】

- | | |
|--------------------|----------------|
| ○ 高齢者の生きがいの充実・健康維持 | ○ 現役世代の下支え |
| ○ 高齢者の生活の安定 | ○ 企業などの人で不足の解消 |
| ○ 地域社会の維持・発展 | |

安全はすべてに優先する！

シルバー人材センターに入会して

月見小一班 鈴木 喜美子

私は去る4月に入会しました。

入会するまでは、シルバー人材センターとはどんな所だろうかと不安がありました。が、先ず説明会を受けてみてから決めようと思いました。

説明会では私より年令が上の方々が沢山いるようでしたので、私にも出来る仕事があれば、もう少し働いてみたいと思ひ、入会しました。

私は若い時からこの年になるまで、朝早く家を出て仙台に通勤しておりましたので、早起きは苦にならなかつたのですが、悩みは強風、大雨、地震がある度に電車が遅れたり、運休になり、その都度大変でした。

一番辛かつたのは東日本大震災の時でした。地震が発生した時は仕事でしたが、揺れが大きくて立っていることも歩くことも出来ずに、恐ろしくて呆然と座り込んでしまいました。少し揺れがおさまり、皆と帰る支度をして何人かで車に乗せていただきましたが、道路は渋滞していました。

中野栄まで来たなら、道路まで津波が到達して車はすべて通行止めでしたので、私たちは、車から降りて歩き始めました。膝上まで水に浸かりながら、転ばないよ

うに皆と手を繋いで必死に歩きました。

途中まで来たなら道路の水が寒さで凍結して歩きづらかつたのですが、家に帰らなければ・・・とのおもいで歩き続けました。停電で周囲は真暗な夜道なので何処をどう歩いているのか全く分らなくなりました。そのうちに学校らしい建物の明かりが見えたので、行ってみるとそこは避難所になつており大勢の人々が避難してしま

した。私たちもそこで一晩避難させていただきましたが、膝下がビッシヨリ濡れていたので、ガタガタ・ブルブル震えがなかなか止まりませんでした。学校の名前は覚えておりません。

夜が明けるのを待ち、家のことが心配で、地元の方に道順を聞き、知らない道を一時間ほど歩いてようやく塩釜の我が家にとどり着き、皆の顔を見たらホッとしました。

震災時は仙台への通勤はもうしないと思ひながら、震災後も結局十年間勤めました。振り返ってみると、我ながらこの年になるまでよくも通勤が出来たなあと感じました。

世界中でコロナ感染者が増え続け、仙台でも多く発生しているので、通勤中に自分もコロナに感染してからは遅いとおもひ、思い切つて仙台の職場を退職しました。

シルバー人材センターから、「緑が丘病院の清掃業務」を声掛けていただきました。少し迷いましたが家から近いのが最高に嬉しく、仕事を始めてみると皆さんとても親切でいい方々ばかりで、わからない事は親切に指導していただき、私もすっかり覚えられて何とか皆さんに追いついて行つていきます。

仕事の内容も覚えて気持ちに余裕が出来て、仕事に張り合いもあり毎日楽しく働かせていただいております。

私もまだまだ体も動くので、これからもイキイキと楽しく仕事をして行きたいと思ひます。シルバー

人材センターから、とても良い働ける場所をた紹介していただいたことに感謝しております。



結婚の報告

係長 菅野勝弘

日頃よりシルバー人材センター事業にご理解
ご協力頂きありがとうございます。

さて私事で大変恐縮でございますが、この
度、縁があり3月9日に入籍いたしました事をこ
の場をお借りしましてご報告いたします。

結婚式は、5月16日に、身内だけで執り行いま
した。本来ならば、会員の皆様にご報告したかった
のですが、ご承知の通り新型コロナウイルス感染
症の拡大により盛大に式を挙げる事が困難であ
り、披露宴等で皆様が感染してしまっただけいな
いと考えた結果、今回はこの様なご報告とさせて
いただきました。

つきまして、ご報告が遅れましたことをお詫び
いたします。

最後になりますが、仕事と家庭を両立できるよ
う、精進して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願
い致します。

さしかわす

枝むつまじく さかゆらん

ちとせをちぎる 相生の松

かれこれ1年： いつも笑顔で 楽しくお仕事をしたい！



櫻井 愛

いつもお世話になっております。

令和2年8月の半ばから塩釜シルバ
ー人材センターの事務のアルバイトと
して入社しました。

入社してから早くも1年がたとうと
しております。私は、「植木剪定」と「会
議所ニュース配布」のお仕事を担当さ
せていただいております。

まだまだ至らない点多々ありませ
が、どうぞよろしくお願致します。

月・水・金と週3日の勤務ですので、
私が担当しているお仕事の会員さん
にはご不便、ご迷惑をおかけしておりま
す。

いつも笑顔で、楽しくお仕事をしたい
と思っております。

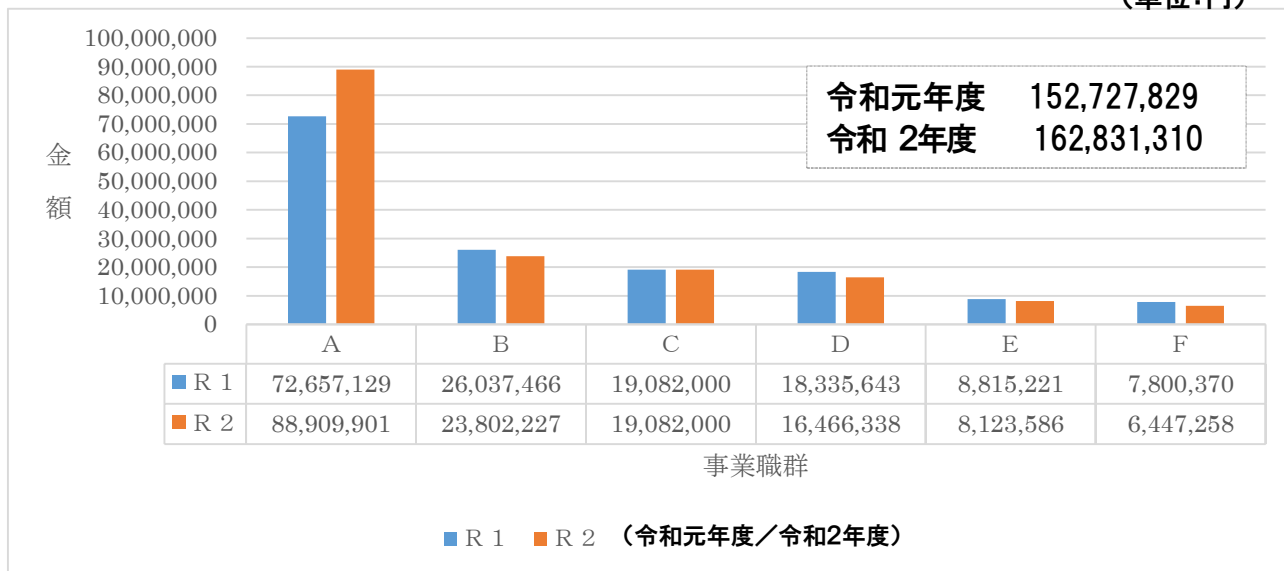
どうぞこれからもよろしくお願
致します。

令和2年度 収支決算概要

経常収益(歳入)		経常費用(歳出)		当期経常増減額	
				当期一般正味財産増減額	
1	受託事業	138,495,886	1 事業費	144,883,886	
2	独自事業収益	18,600			
3	派遣事業	1,095,794	2 管理費	4,566,388	
4	訪問介護事業	3,543,760			
5	正・賛助会員会費	550,000			
6	国・市からの補助金	19,082,000			
7	雑収	45,270			
計		162,831,310	計	149,450,274	13,381,036
一般正味財産期首残高					177,111
一般正味財産期末残高					13,558,147

令和元・2年度 事業職群別等経常収益

(単位:円)



A	軽作業群	除草・清掃・雑務等
B	技能群	襖・障子・網戸・クロス等・植木剪定・伐採等・大工等・その他調理補助等
C	補助金	受取連合交付金(国)・受取市補助金(市)
D	管理群	施設・駐車場等管理
E	サービス群	家事援助・訪問型B・介護保険事業
F	その他	労働者派遣事業等収益・会費・雑収益・保守点検等・筆耕・一般事務・配達・手芸

しおがまウイルスバスター隊 学校の消毒作業に奮闘

月間「シルバー人材センター11」：公益社団法人「全国シルバー人材センター」事業協会編より抜粋し転載

塩釜市SCでは、市内10校の小中学校で消毒を行う業務を市より受託。「しおがまウイルスバスター隊」として、5月下旬から就業を開始した。

現在約70人の会員が「孫が通学しているから」「母校だから」「地域貢献したい」などの思いで、

子どもたちを新型コロナウイルスから守るために奮闘。そうした姿に多くの感謝が寄せられている。

センターでは感染防止対策の徹底に注力している。

センターの概況

同センターの特徴の一つが、イメージキャラクター「シルマグちゃん」の存在だ。子どもからお年寄りまで愛されるセンターを目指して、平成25年に公募し、多数の応募作品から選ばれて誕生した。市内イベントなどに着ぐるみ参加して人気者となり、センターの認知度を高めている。

新型コロナウイルスの影響と感染拡大防止への対応

国の緊急事態宣言の発出中、多くの公共施設が閉鎖されたことから、施設管理の就業が休みとなった。また、蜜になることを避けるため、植木の剪定や除草の就業は中止していた。いずれも、緊急事態宣言の解除後には再会している。

センターの取組では毎年130人ほどが出席する定時総会は、理事と代表会員のみの少数数で令和2年6月に開催した。

事務局では感染防止対策として、透明のビニールカーテンによる飛沫防止、出入り口でのアルコール消毒や検温を実施している。

小中学校の消毒作業を受諾

国の緊急事態宣言発出中の5月、市の教育委員会から、小中学校10校で消毒作業を行う業務の委託を打診された。事務局では感染の危険性も含めて全職員で検討の上、会員に電話したところ、約30人から「できる」との返答があった。会員からは「母校の役にたきたい」「孫が通学しているから、子どもたちを守るきもちで頑張りたい」という声があり、受諾を決めた。

●就業の内容

放課後の15時30分～17時に、校内の机及び椅子、ドアノブ、手すり、洗面所の蛇口など児童・生徒が触れる箇所を次亜塩素酸ナトリウム水溶液で拭き、その後に水拭きをする。

●就業に向けて

就業開始前、就業予定会員に各学校の担当ごとに集ってもらい、事務局職員が説明会を開いた。感染防止に努めること。作業に使用する次亜塩素酸ナトリウムの水溶液の説明、仕上げに必ず水拭きが必要などを伝え、十分に理解した上で作業ができるようにした。

●就業開始

「しおがまウイルスバスター隊」の愛称が市から付与されて、5月25日市立第一小学校で仕事始めの出勤式を開催。「新型コロナウイルス感染症から、小中学校の生徒を守りたい」「先生方の負担を少しでも軽減したい」「受託契約が減少している塩釜市SCの就業確保も目的」などの言葉が市長からあった。

小中学校での消毒作業をシルバー人材センターが受諾するのは全国で初めてだったこともあり、式には多数のメディアが集まりテレビや新聞で大きく報道された。

●就業人員

当初60人ほどで開始したが、この就業を希望して入会した会員が加わり、現在は約70人で取り組んでいる。メンバーは、引地榮五理事長を始め男性40人、女性約30人。就業は、できるだけ自宅から近い学校になるように配慮している。一校につき4人体制が6校、5人体制が4校で、学校ごとに6～10人の班を編成し、ローテーションを組んでいる。就業日の調整は、基本的に班員同士で行っている。

※

受諾期間は、夏休み・冬休み期間を除き令和2年5月25日から令和3年3月24日迄。

令和3年
8月号

シルバー友の会だより

発行
塩釜シルバー友の会
塩釜市尾島町18-17
Tel 022-367-5940

コロナの収束と会員から一人の感染者も出さないことを願う！

会長 小野健蔵
(杉小三班)

梅雨空から一転して厳しい暑さが続いておりますが、皆さんお元気でお過ごしのことと存じます。

令和2年度の総会において会長に指名されて以来、コロナウイルス感染症拡大に伴い友の会の活動は出来なくなり、この一年間は何も出来ずに過ごしてしまいました。

まだコロナの感染は落ち着いた訳ではなく当分続きそうな状態です。

この秋のレクリエーションも計画中止とすることになりそうです。

早く収まる事を願うばかりです。

これからもシルバーの会員からは一人も感染者は出さないと言う意気込みで頑張ってください、また元のように皆さんと連帯感を持って楽しい会合等を開けるようお願い次第です。

令和3年度も何卒よろしくお願いたします。

令和3年度 事業計画

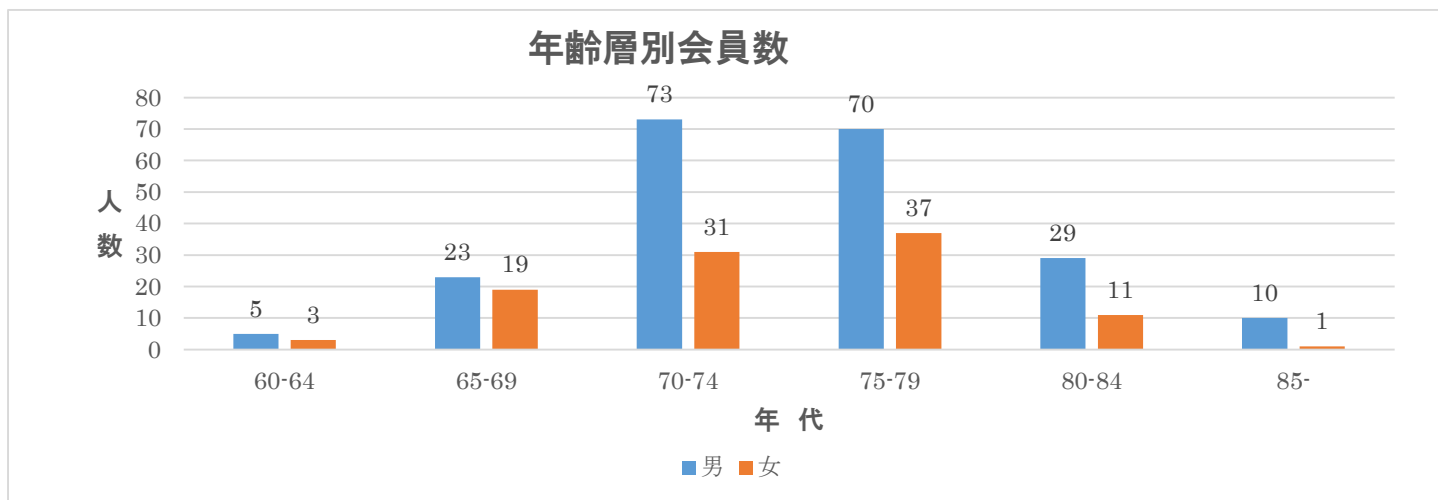
次のとおり計画しましたが、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止します。

- ① シルバーの日の清掃奉仕活動 令和3年10月16日(土)
- ② 会員旅行会 秋(10月～11月の間)
- ③ 新春の集い 令和4年1月
- ④ サークル活動(新型コロナウイルス感染防止措置を十分講じたうえで実施する)
 - カラオケサークル「エコーズ」: 毎週木曜日 尾島町集会所2階
 - 麻雀サークル : 毎週金曜日 尾島町集会所1階
 - パソコンサークル : 毎週木曜日 シルバー人材センター2階会議室
 - シルバー筆耕班 : 第1・第3月曜日 公民館分室

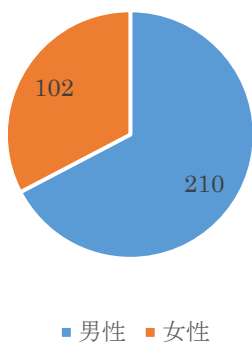
※ 役員会は、新型コロナウイルス感染状況の推移を見守りつつ、適時適切に開催し、事業活動の推進に努めます。

会員の状況

定時総会議案書18頁参照



会員男女比

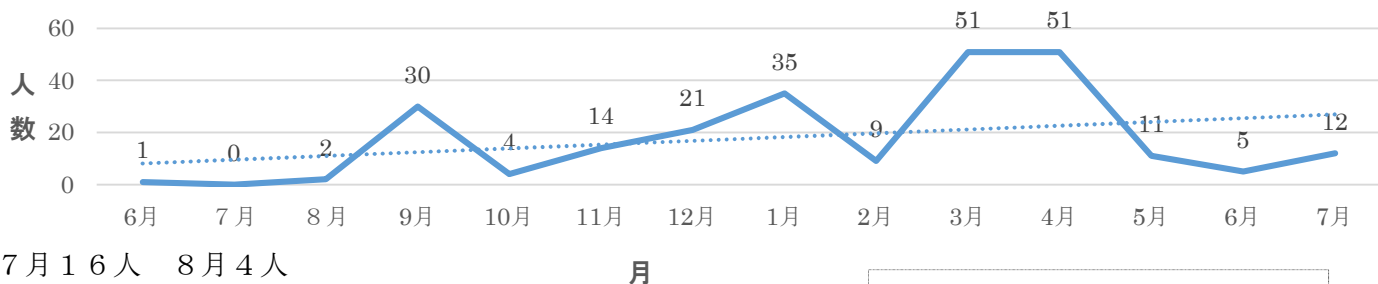


会員の状況

- 年間の増減 320から312名に **8名減**
- 退会理由
 - 病気 19名 48.7%
 - 就職 5名 12.8%
 - 死亡・転居 4名 10.2%
 - その他 11名 28.3%
- 平均年齢 男:75.5歳 女:74.3歳 全体:75.1歳
- 歳高年齢 男:91歳 女:87歳

塩竈市新型コロナウイルス感染者月別推移

令和2年6月1日～令和3年7月28日



宮城県:9724人 塩竈市:246人

編集後記

昨年8月に「塩釜シルバーだより」(通巻第37号)を発行した時、来年の総会時までにはコロナが収束するのではとの淡い期待を抱いておりましたが、今なお猛威を奮っています。塩釜市も微増の状態です。

今年も出席者を最小限に抑えた異例の総会となりましたが、ワクチン接種が普及し、一日も早い収束を祈るばかりです。

今般は、塩竈市長始め多くの方々から原稿をお寄せいただき、感謝致しております。

皆さまひとり一人の声・言葉が「諸役員～事務局～会員～顧客」相互の心と心をつなぐものでありたいと念じております。

次号は**令和4年1月発行**を予定しています。是非原稿をお寄せください。(畠山)